

大阪市の喫煙所に関する調査



調査概要

調査目的	喫煙所設置状況に関する実態調査
調査課題	■路上喫煙禁止エリアの認知度 ■喫煙場所の実態 ■喫煙所の充足度評価 ■喫煙所不足エリアの特定 ■喫煙所がない場合の行動 ■非喫煙者が路上喫煙に対して感じること
調査手法	ネットリサーチ
対象者条件	【性別】 男女 【年齢】 20歳～69歳 【その他条件】大阪市在住または大阪市内通勤・喫煙者/非喫煙者
回収数	本調査:800サンプル（SC回収の本調査条件の出現率を理論値としてウェイトバック集計にてサンプル補正）
割付	喫煙者:400ss 非喫煙者:400ss 計:800ss
調査期間	2025年5月22日(木)～5月26日(月)

フェース質問		
F1	SA	基本属性(性別)
F2	NUM	基本属性(年齢)
F3	SA	基本属性(居住地)
F4	MA	除外業種設問

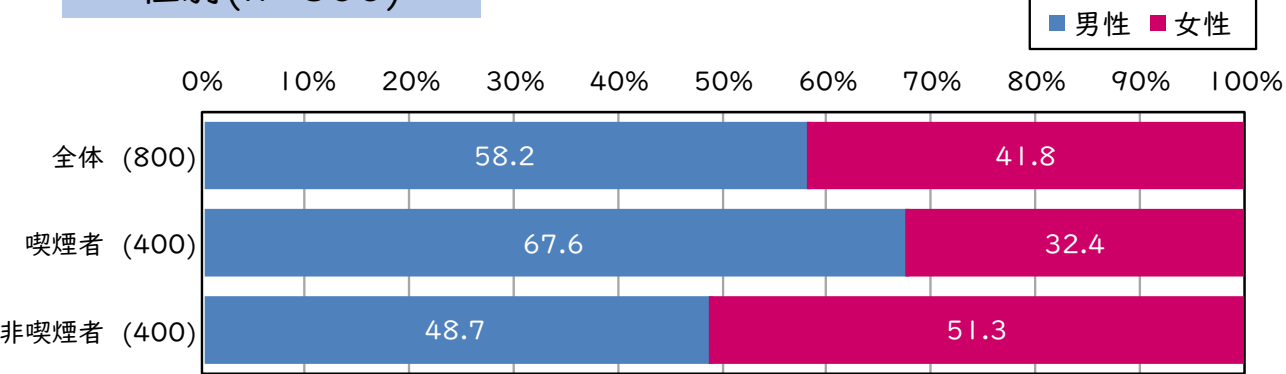
SC調査		
SC1	SA	大阪市在住有無
SC2	SA	大阪市の居住区
SC3	SA	大阪市への勤務有無
SC4	SA	勤務先の所在地(区)
SC5	SA	喫煙有無
SC6	SA	喫煙本数(1日)

本調査		
Q1	SA	禁止地区拡大の認知
Q2	MA	外出時の喫煙場所
Q3	SA	喫煙所の数
Q4	MA	喫煙所希望設置場所
Q5	FA	喫煙所希望設置場所の理由と場所
Q6	SA	喫煙所が見つからない場合の対応
Q7	SA	喫煙所を探す時間
Q8	SA	ポイ捨てを見かける頻度
Q9	SA	路上喫煙をどう感じるか
Q10	SA	喫煙所増設への可否

SA(シングルアンサー) : 単一回答
MA(マルチアンサー): 複数回答
FA(フリーアンサー): 自由回答
※NA: 数値回答
※MT: マトリクス(表組)

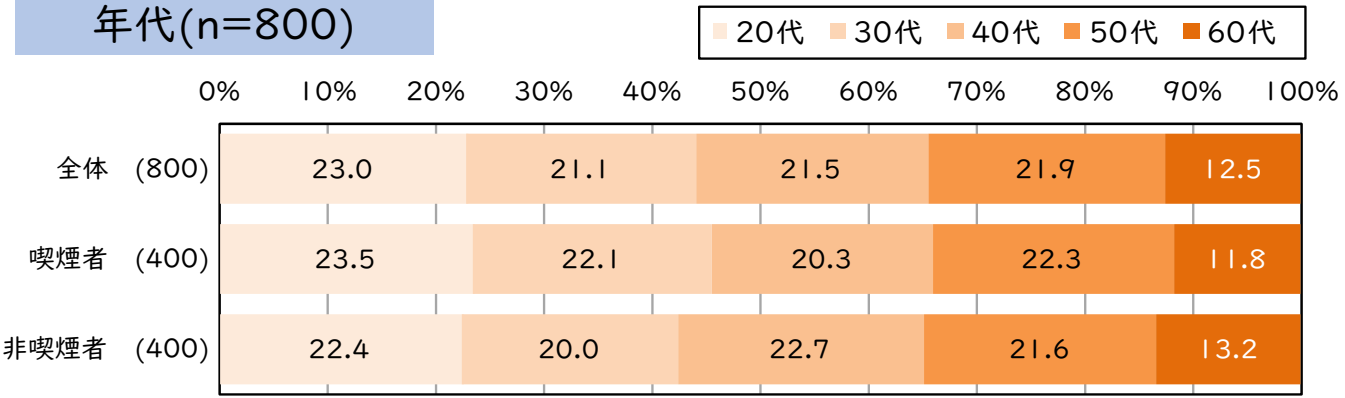
回答者プロフィール

性別(n=800)



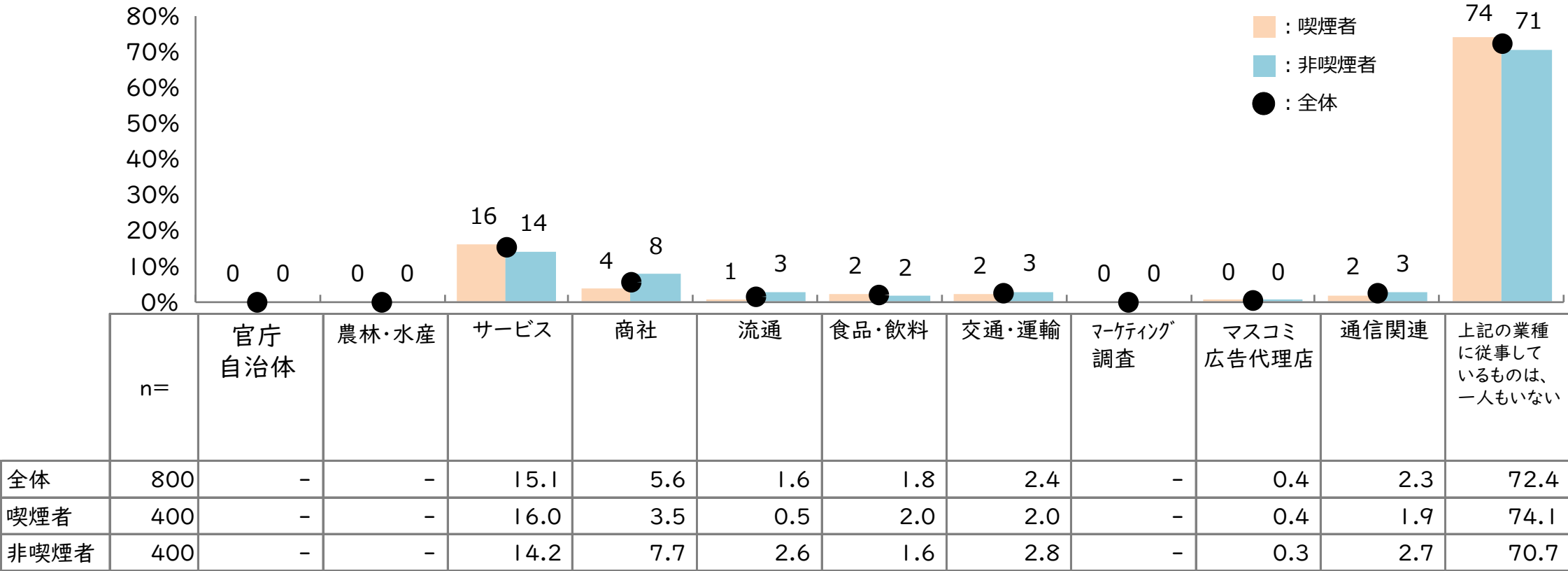
2%未満の数値ラベルは非表示

年代(n=800)



2%未満の数値ラベルは非表示

業種(n=800)



サマリー

	■<u>路上喫煙禁止エリア拡大の認知度</u> 「路上喫煙禁止地区が大阪市全域への拡大」への認知率は72.7%。 喫煙者の認知率(85.5%)が非喫煙者(59.8%)を大きく上回っており、 自身の行動に直接関係する立場の方が制度に対して敏感である傾向が読み取れる。
	■<u>外出先での喫煙場所の状況</u> 外出先での喫煙場所として、「コンビニ・たばこ店等の店頭」に設置された灰皿(68.0%)や「職場の喫煙所」(60.4%)が 性別・年代を問わず高くなっており、喫煙者にとって主要な喫煙場所となっている。
	■<u>喫煙所の充足度評価</u> 全体の「足りている」と感じる割合は33.1%となっており、66.9%が足りないと感じている。 「足りないと」感じている割合は喫煙者(87.9%)の方が非喫煙者(46.0%)に比べて高く、 喫煙者にとって現状の喫煙環境が不十分であるという認識が強いことがうかがえる。
	■<u>喫煙所不足エリア</u> 今回の調査対象となっているエリアでみると、浪速区において喫煙所が「足りないと」感じている人の割合が91.8%と非常に高く、 天王寺区(75.8%)、北区(70.5%)でも同様に高い傾向が見られる。 すべての区において、半数以上の回答者が喫煙所の数が足りないと感じており、地域差はあるものの、 喫煙所不足は広範に共通する課題であることが明らかとなった。
	■<u>喫煙所の希望設置場所</u> 喫煙者・非喫煙者共に設置希望場所の上位3位までは「駅周辺」「オフィス街」「商業施設周辺」と同一であった。 北区・天王寺区では「駅周辺」への設置希望が高く、浪速区では「オフィス街」や「公園」での設置希望が高い傾向が見られ、 喫煙所の設置にあたっては一律の配置ではなく、地域ごとの利用実態や行動パターンに基づいた柔軟な対応が求められる。

	■<u>喫煙所がない場合の行動</u> 喫煙所が見つからない場合の対応として、「喫煙を我慢する」と回答した人が73.6%と最も多く、多くの喫煙者が状況に応じて、自制的な行動を取っていることがうかがえる。 一方で、「路上で喫煙する」「コインパーキングなどの私有地で喫煙する」など、適切な喫煙場所が確保できないことで、望ましくない行動に至るケースも一定数存在している。
	■<u>ポイ捨てを見かける頻度</u> ポイ捨てを週に1回以上見かける人の割合は全体で57.9%にのぼり、「ほぼ毎日」見かける人も28.2%と高いことから、ポイ捨ては依然として身近な問題であることがうかがえる。 地域別に見ると、「天王寺区（72.3%）」「浪速区（70.1%）」では週1回以上の目撃率が特に高くなっている。 これらの地域は、喫煙所が足りないと感じている人の割合も高いエリアであり、喫煙環境の充足度とポイ捨ての発生には一定の相関が見られる。
	■<u>路上喫煙に対して感じること</u> 「路上喫煙が非常に気になる」と回答した割合は、喫煙者32.0%に対し非喫煙者は58.1%と26.1ポイントの差が見られるが、「路上喫煙が気になる」全体で見ると、喫煙者が80.0%、非喫煙者が86.3%と全体では6ポイントの差となっており、喫煙者・非喫煙者共に路上喫煙に対する課題感について大きな差は見られなかった。
	■<u>喫煙所増設への賛成度</u> 全体の79.2%が賛成と回答しており、多くの人が現状の喫煙環境に改善の余地があると感じていることがうかがえる。 喫煙の有無別では、喫煙者の賛成率が高いのは当然ながら、非喫煙者でも7割強が賛成しており、適切な分煙環境の整備を通じて、路上喫煙などの迷惑行為の抑制や共存の実現を期待する声があると考えられる。

POINT

1

大阪市内における喫煙所の数は喫煙者・非喫煙者を問わず「不足している」と感じている人が多く、喫煙所の増設が強く求められていることが明らかとなった。

POINT

2

全ての調査対象エリアで半数以上が喫煙所不足を実感しており、場所に多少の差はあるものの、喫煙所不足は全域共通の課題である。浪速区・天王寺区など喫煙所が不足していると感じている割合が高いエリアでは、ポイ捨ての目撃頻度も高く、喫煙環境の不足とポイ捨て発生には一定の相関が見られる。

POINT

3

実際の喫煙場所としては「コンビニ等の店頭灰皿」「職場の喫煙所」など限られた場所への依存度が高く、屋外で自由に喫煙できる環境が非常に限られている現状も確認された。

POINT

4

喫煙所の増設については全体の79.2%が賛成と回答しており、喫煙者だけでなく非喫煙者の7割強も賛同している。これは、喫煙者・非喫煙者双方にとって、明確な喫煙スペースの整備が共存・マナー向上のために必要不可欠であると認識されていることを示している

POINT

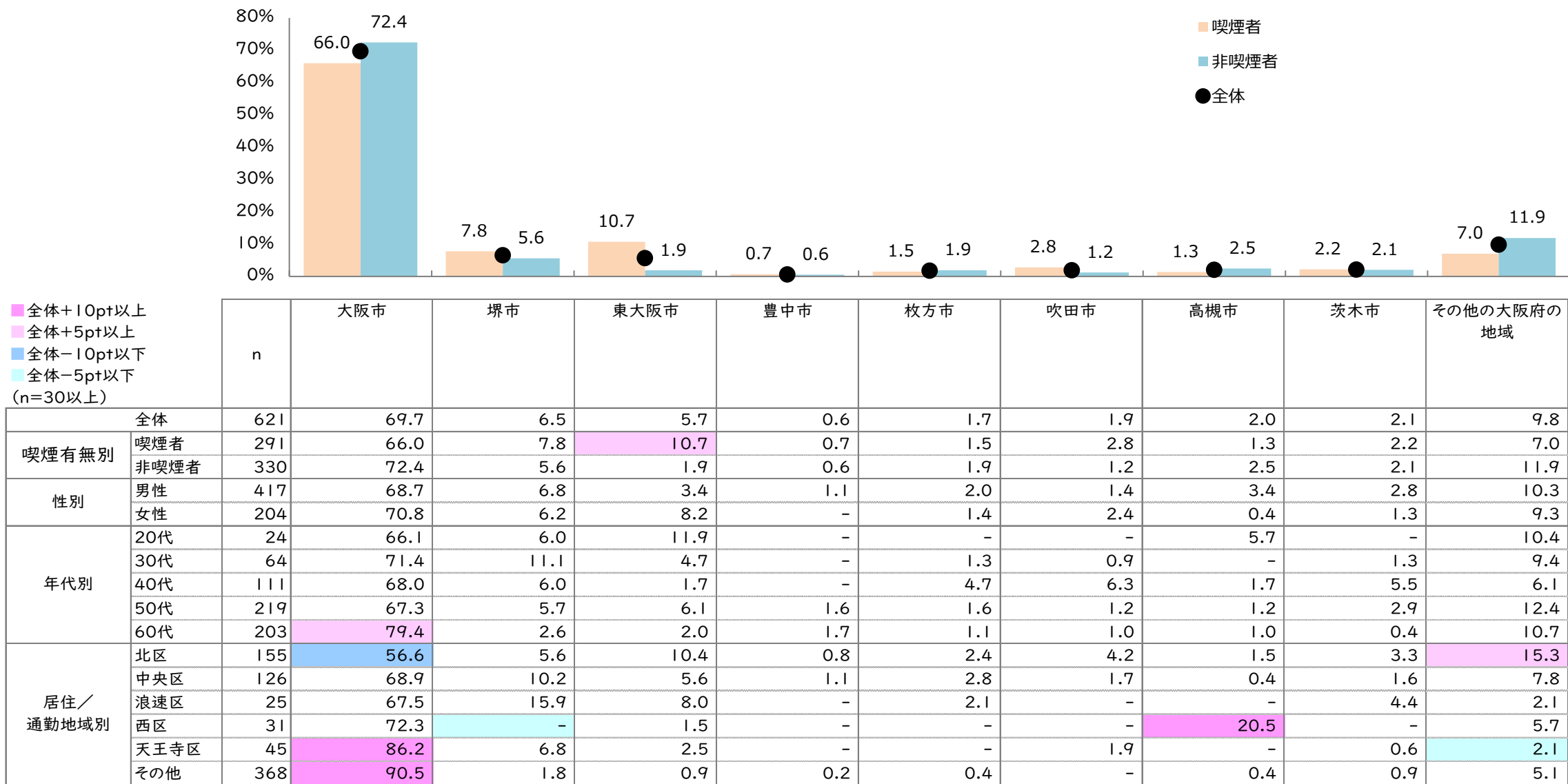
5

現状の喫煙所は明らかに足りておらず、喫煙所を増設することによりポイ捨ての解消にもつながると考えられることから、設置要望が多い場所に十分な数の喫煙所を設置することが急務である。

詳細編スクリーニング

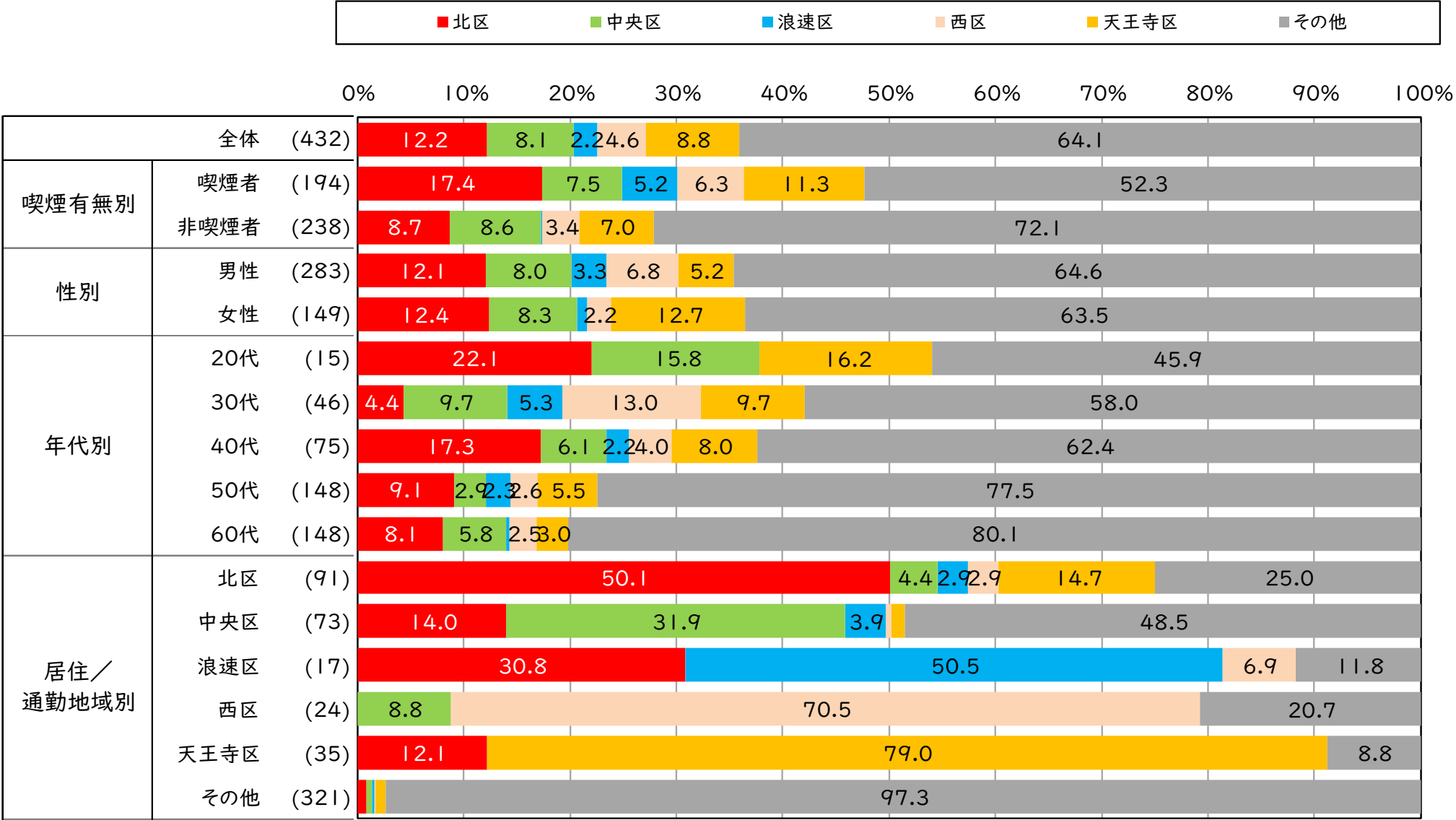
※本調査データ

SCⅠ あなたは大阪府のどの地域に在住していますか。(SA)



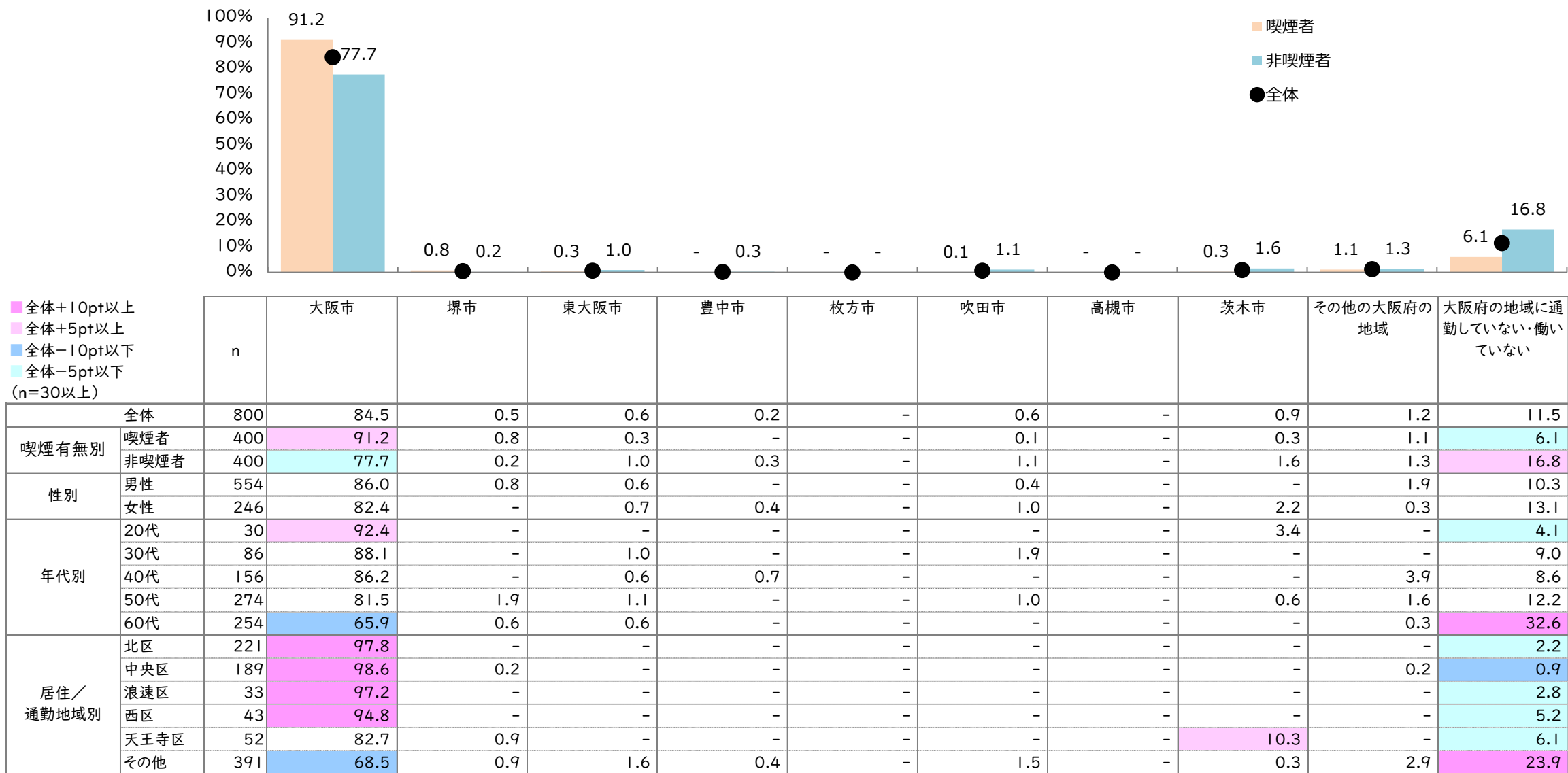
調査対象：「大阪市内に居住」もしくは「大阪市が通勤地」
例：北区＝居住地もしくは通勤地が北区の方

SC2 あなたは大阪市内のどこの区に在住していますか。(SA)



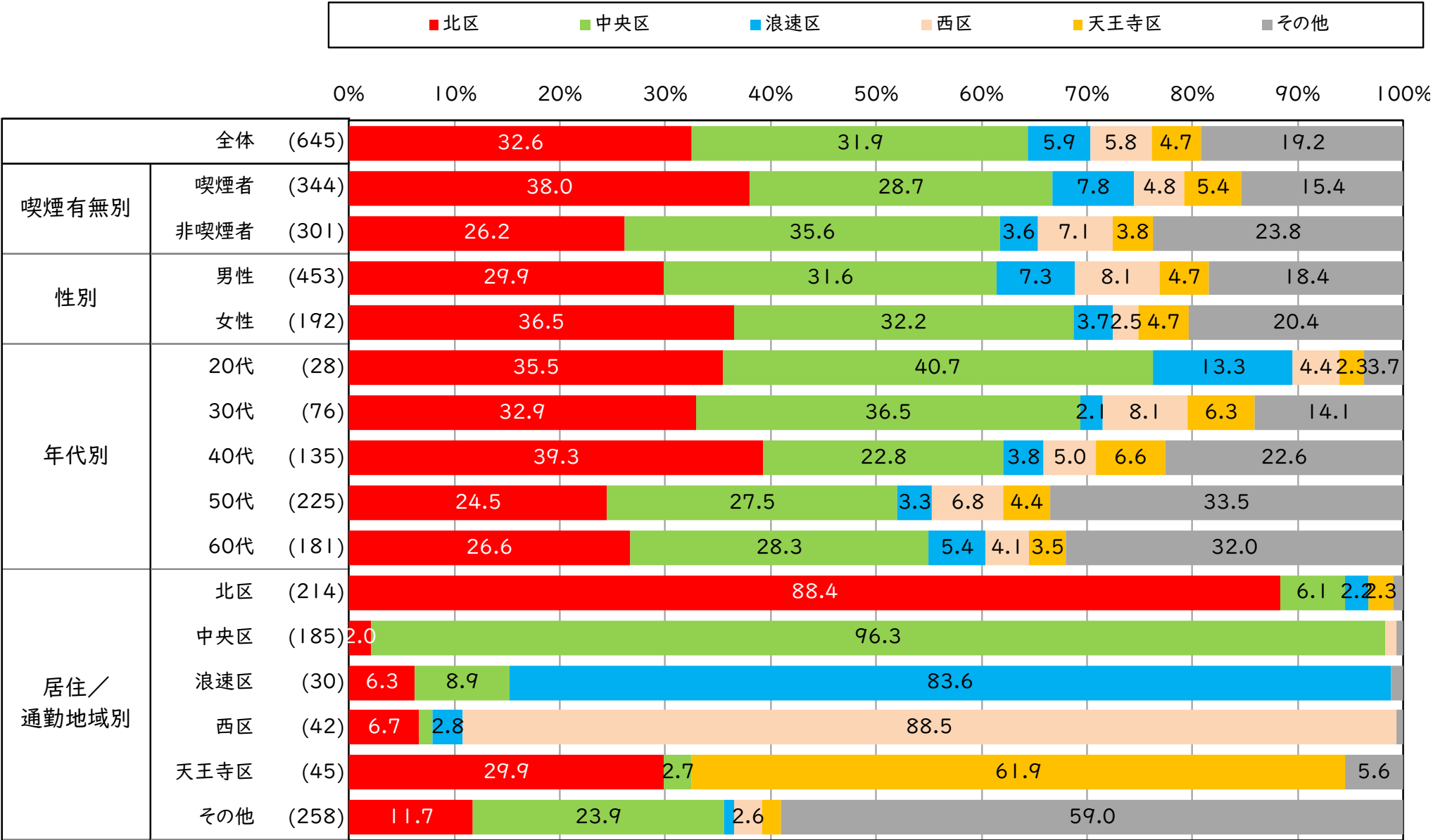
2%未満の数値ラベルは非表示

SC3 あなたは大阪府の地域に通勤していますか。(SA)



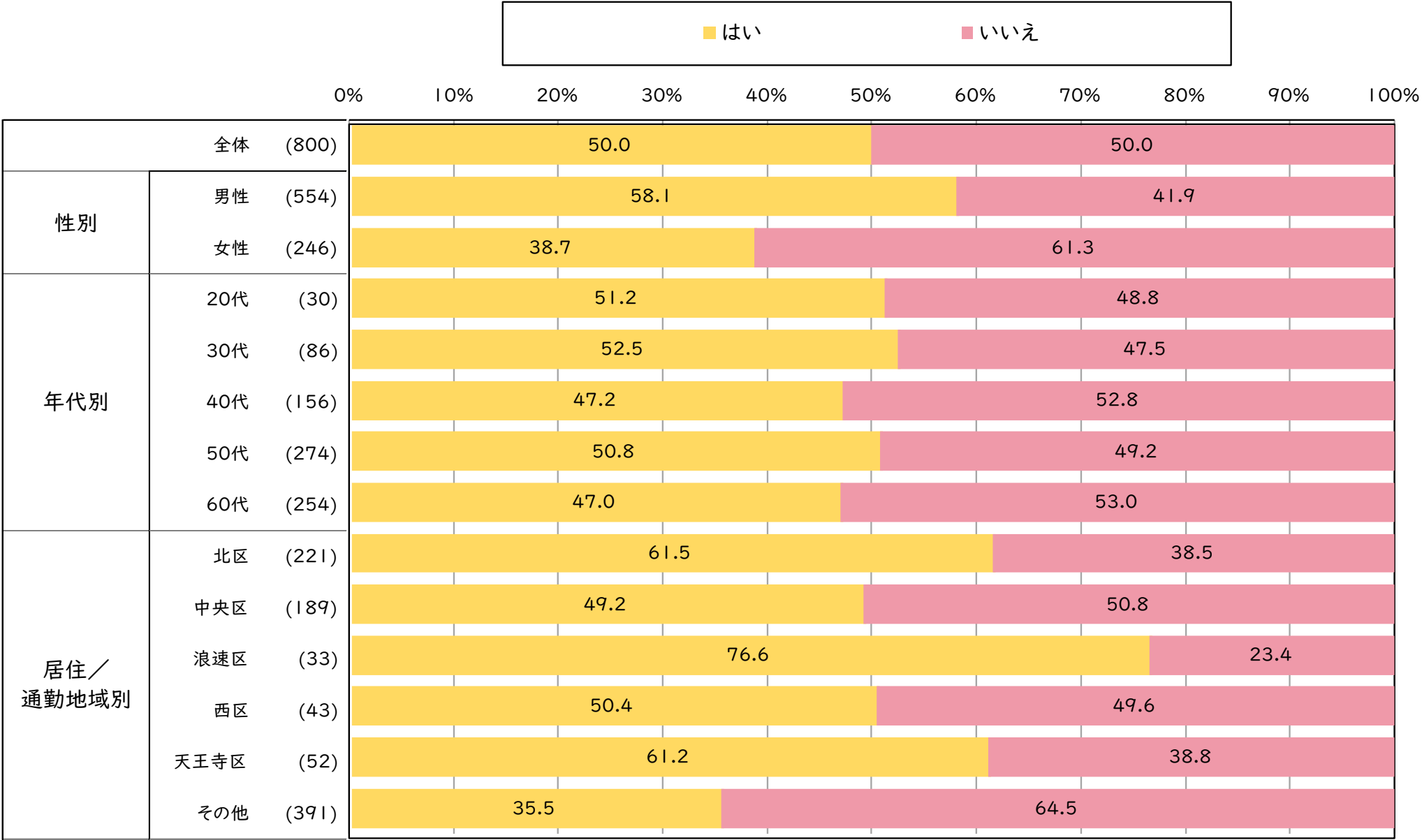
調査対象：「大阪市内に居住」もしくは「大阪府が通勤地」
例：北区＝居住地もしくは通勤地が北区の方

SC4 あなたは大阪市内のどこの区に通勤していますか。(SA)



2%未満の数値ラベルは非表示

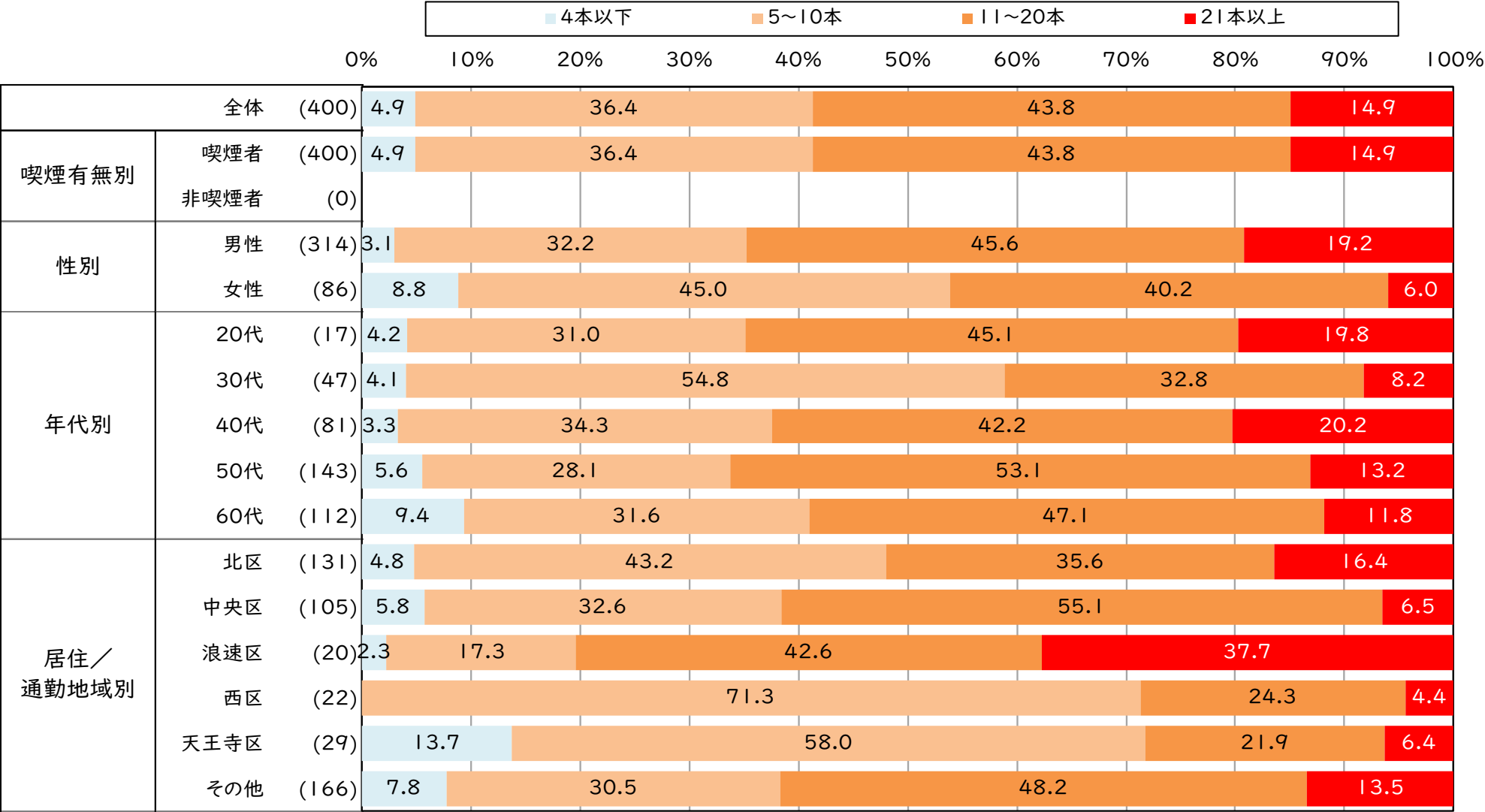
SC5 あなたは現在喫煙をしていますか。(SA)



2%未満の数値ラベルは非表示

SC6 1日で何本程度タバコを吸いますか。(SA)

- 喫煙本数で見ると最も多いのが11~20本で43.8%となっている。
- 11本以上の喫煙本数の割合を性別でみると男性が64.8%、女性が46.2%と男性の本数が多い傾向が見られる。
- 居住／通勤地域別でみると、浪速区が最も高く80.3%、次いで中央区(61.6%)、北区(52.0%)と続く。



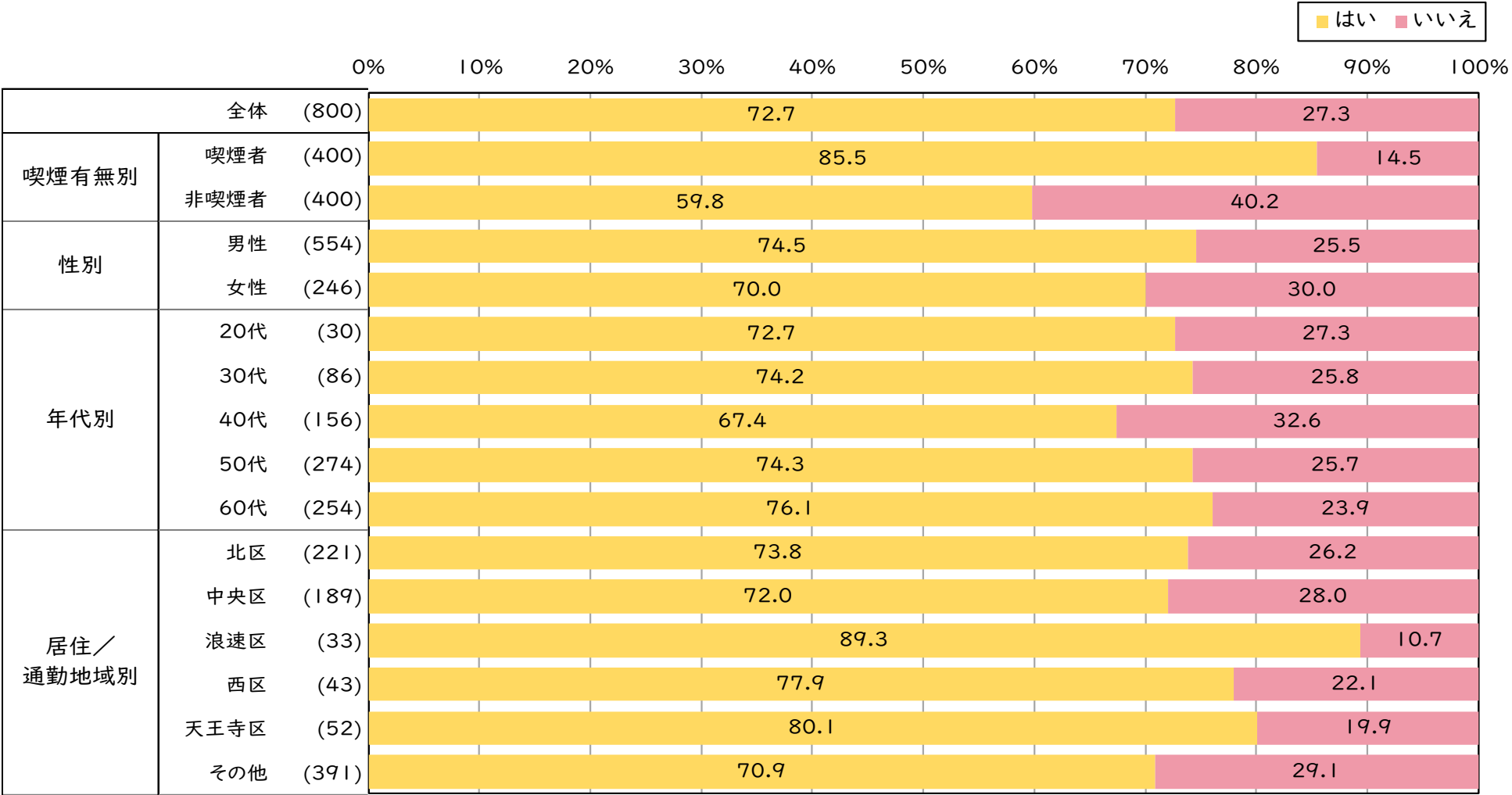
2%未満の数値ラベルは非表示

詳細編本調査

※本調査データ

Q1 2025年1月27日から路上喫煙禁止地区が大阪市全域に拡大したことを知っていますか。(SA)

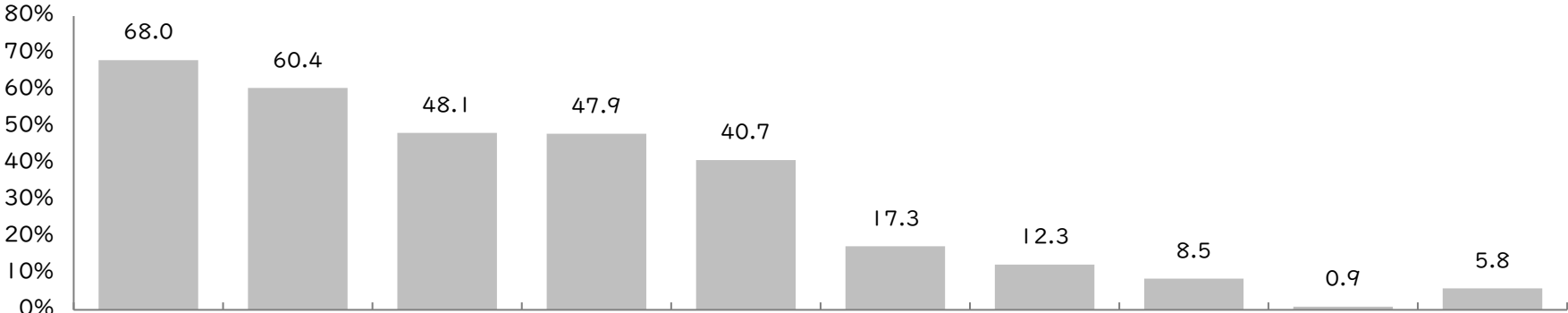
- 全体の「路上喫煙禁止地区が大阪市全域への拡大」への認知率は72.7%。
- 喫煙者(85.5%)の方が非喫煙者(59.8%)よりも高い傾向が見られる。
- 年代別でみると40代の認知率が67.4%と全体よりも低い傾向が見られる。
- 居住／通勤地域別でみると、浪速区の認知率が89.3%最も高く、天王寺区(80.1%)、西区(77.9%)と続く。



2%未満の数値ラベルは非表示

Q2 外出先で喫煙する場合の場所について、あてはまるものをすべて教えてください。(MA)

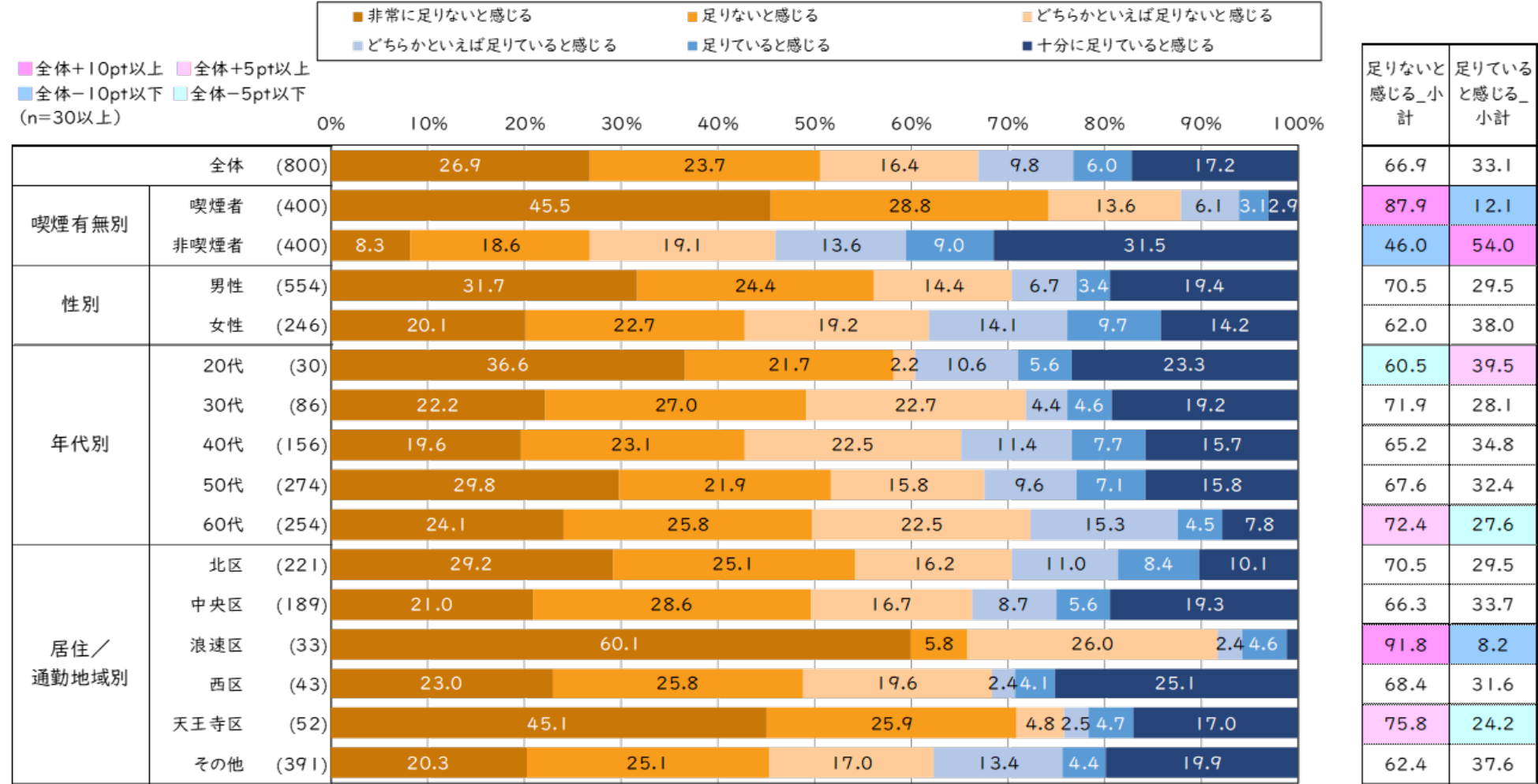
- 外出先での喫煙場所として、最も多いのが「コンビニ・たばこ店等の店頭に設置された灰皿」の68.0%、次いで「職場等の喫煙所」60.4%、「飲食店の喫煙所」48.1%となっている。
- 性別でみると女性は、「飲食店」の利用が高くなっており、「公衆喫煙所」「パチンコ店」での喫煙率は低い傾向。
- 年代別でみると、30代の「コンビニ・たばこ店等の店頭に設置された灰皿」の利用割合が高くなっており、飲食店の利用は低い傾向が見られる。
- 50代は「職場の喫煙所」が高くなっており、60代は全体的に喫煙場所の利用率は低くなり、「外出先では喫煙しない」割合が高くなっている。
- 居住／通勤地域別でみると中央区は、喫煙所での喫煙率が全体的に高い傾向が見られ、「路上」での喫煙は他の区よりも低い傾向が見られる。



		n	コンビニ・たばこ店等の店頭に設置された灰皿	職場等の喫煙所	飲食店の喫煙所・喫煙出来る飲食店	公衆喫煙所	商業施設の喫煙所	パチンコ店	路上	公園・広場	その他	外出先では喫煙しない
喫煙の有無別	全体	400	68.0	60.4	48.1	47.9	40.7	17.3	12.3	8.5	0.9	5.8
	喫煙者	400	68.0	60.4	48.1	47.9	40.7	17.3	12.3	8.5	0.9	5.8
	非喫煙者	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性別	男性	314	70.2	58.2	44.5	51.6	39.0	20.9	11.4	8.6	0.4	4.3
	女性	86	63.4	64.9	55.8	40.2	44.4	9.8	14.3	8.1	1.9	8.9
年代別	20代	17	81.7	67.6	63.4	40.8	45.1	19.8	18.3	-	-	-
	30代	47	79.4	54.8	34.3	56.1	39.7	16.4	13.7	15.1	-	4.1
	40代	81	65.9	58.0	48.1	48.4	43.1	21.5	11.4	11.4	-	5.7
	50代	143	60.7	65.6	50.0	52.4	40.0	15.6	8.1	8.7	2.5	4.4
	60代	112	36.4	50.4	40.3	37.3	31.3	9.7	7.5	7.5	2.9	23.5
居住／通勤地域別	北区	131	67.0	64.6	48.1	49.0	47.7	13.8	12.5	8.2	0.9	3.8
	中央区	105	74.2	68.8	58.0	51.9	46.6	20.1	8.0	8.0	1.0	3.2
	浪速区	20	73.9	60.1	46.0	22.8	51.0	38.2	30.9	6.0	-	3.9
	西区	22	60.2	67.9	17.8	52.6	21.9	2.4	12.5	12.5	-	3.8
	天王寺区	29	74.2	41.6	27.7	40.0	16.9	3.8	13.8	7.5	-	1.6
	その他	166	55.9	52.7	43.3	49.8	31.2	13.9	6.8	6.8	2.2	13.0

Q3 大阪市内の喫煙所の数は足りていると感じますか。(SA)

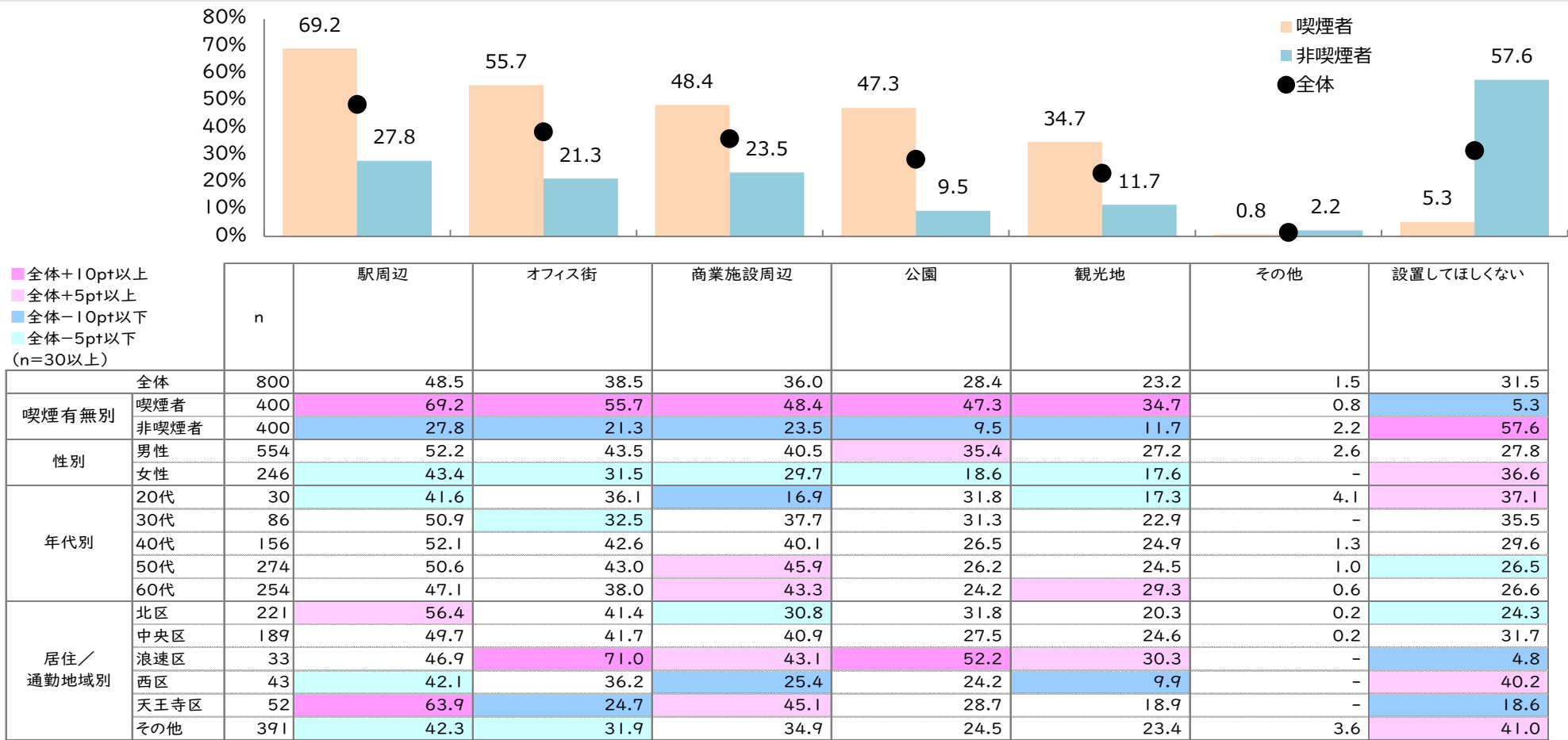
- 喫煙所の数については、喫煙者が非喫煙者に比べて足りないと感じている傾向が見られる。
- 年代別でみると足りないと感じている層は60代が高くなっており、20代は全体と比較すると低い傾向が見られる。
- 地域別でみると「浪速区」が足りないと感じている方が91.8%と高くなっている。次いで「天王寺区」(75.8%)、「北区」(70.5%)となっている。
- 居住／通勤地域別でみると、どの区も半数以上の方が、喫煙所の数は足りないと感じている。



2%未満の数値ラベルは非表示

Q4 大阪市内に喫煙所が増えるとしたら、どのような場所に設置してほしいですか。 あてはまるものをすべて教えてください。(MA)

- 喫煙者・非喫煙者共に設置希望場所の上位3位までは「駅周辺」「オフィス街」「商業施設周辺」と同一であった。
- 喫煙者は基本どの場所も設置希望の割合が高く、非喫煙者は全体的に設置希望の割合が低く、設置場所に対して慎重な姿勢がうかがえる。
- 居住／通勤地域別でみると、北区・天王寺区では「駅周辺」への設置希望が高く、浪速区では「オフィス街」や「公園」での設置希望が高い傾向が見られ、地域特性や利用者の行動範囲に応じて優先すべき設置場所に違いがあることが示唆される。



Q5 前問(Q4)で、大阪市内に喫煙所を設置してほしい場所を選択した理由をそれぞれ教えてください。また、喫煙所を設置してほしい場所の具体的な駅名・施設名などもあわせて教えてください。※具体的な場所名がわからない場合は、エリアでお答えください。

Q.駅周辺を選択した理由

カテゴリ	件数
利用頻度・なんとなく	41
移動・交通の都合	25
職場・通勤のため	9
自宅に近いから	4

A.具体的な駅名

カテゴリ	件数
主要ターミナル(梅田・大阪駅)	105
なんば・心斎橋エリア	26
オフィス街(本町・淀屋橋)	25
天王寺エリア	17
京橋周辺	4

Q.公園を選択した理由

カテゴリ	件数
設置不足・不満	34
喫煙ニーズ(吸いたい)	34
利便性・よく行く場所	16
休憩・リラックス目的	7
人混み・非喫煙者配慮	5
マナー・防止目的	3

A.具体的な公園の名前

具体的な記述	件数
長居公園	9
靱公園	7
大阪城公園	7
扇町公園	6
市街の公園	2
三角公園	2
住吉公園	2
東天満	2
大阪市	2
沢ノ町	1

Q.商業施設周辺を選択した理由

カテゴリ	件数
設置不足・不満	66
喫煙ニーズ(吸いたい)	55
利便性・頻度	30
買い物の合間・ついで	11
人混み・非喫煙者配慮	9
マナー・防止目的	1

A.具体的な商業施設の名前

カテゴリ	件数
イオン系施設	28
梅田周辺モール	19
その他大型商業施設	16
難波エリア商業施設	12

Q.オフィス街を選択した理由

カテゴリ	件数
設置不足・不満	59
喫煙ニーズ(吸いたい)	56
仕事・勤務中の必要	27
人混み・非喫煙者配慮	10
マナー・防止目的	5

A.オフィス街のエリア

カテゴリ	件数
オフィス街(本町・淀屋橋)	55
主要ターミナル(梅田・大阪駅)	38
行政区(北区・中央区など)	34
なんば・心斎橋エリア	10
天王寺エリア	1
京橋周辺	1

Q.観光地を選択した理由

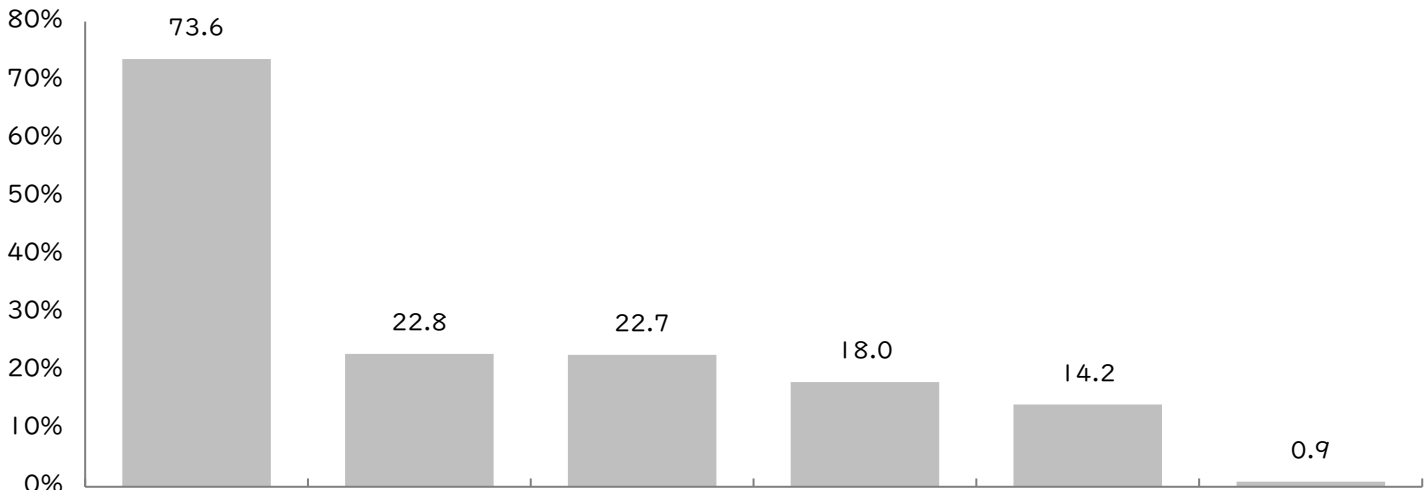
カテゴリ	件数
無回答・不明	609
その他	100
設置不足・不満	40
喫煙ニーズ(吸いたい)	35
マナー・防止目的	7
人混み・非喫煙者配慮	7

A.具体的な観光地の名前

地名・施設名	件数
USJ	5
なんば	2
大阪城	2
梅田	2

Q6外出先で喫煙所が見つからない場合、どのように対応していますか。あてはまるものをすべて教えてください。(MA)

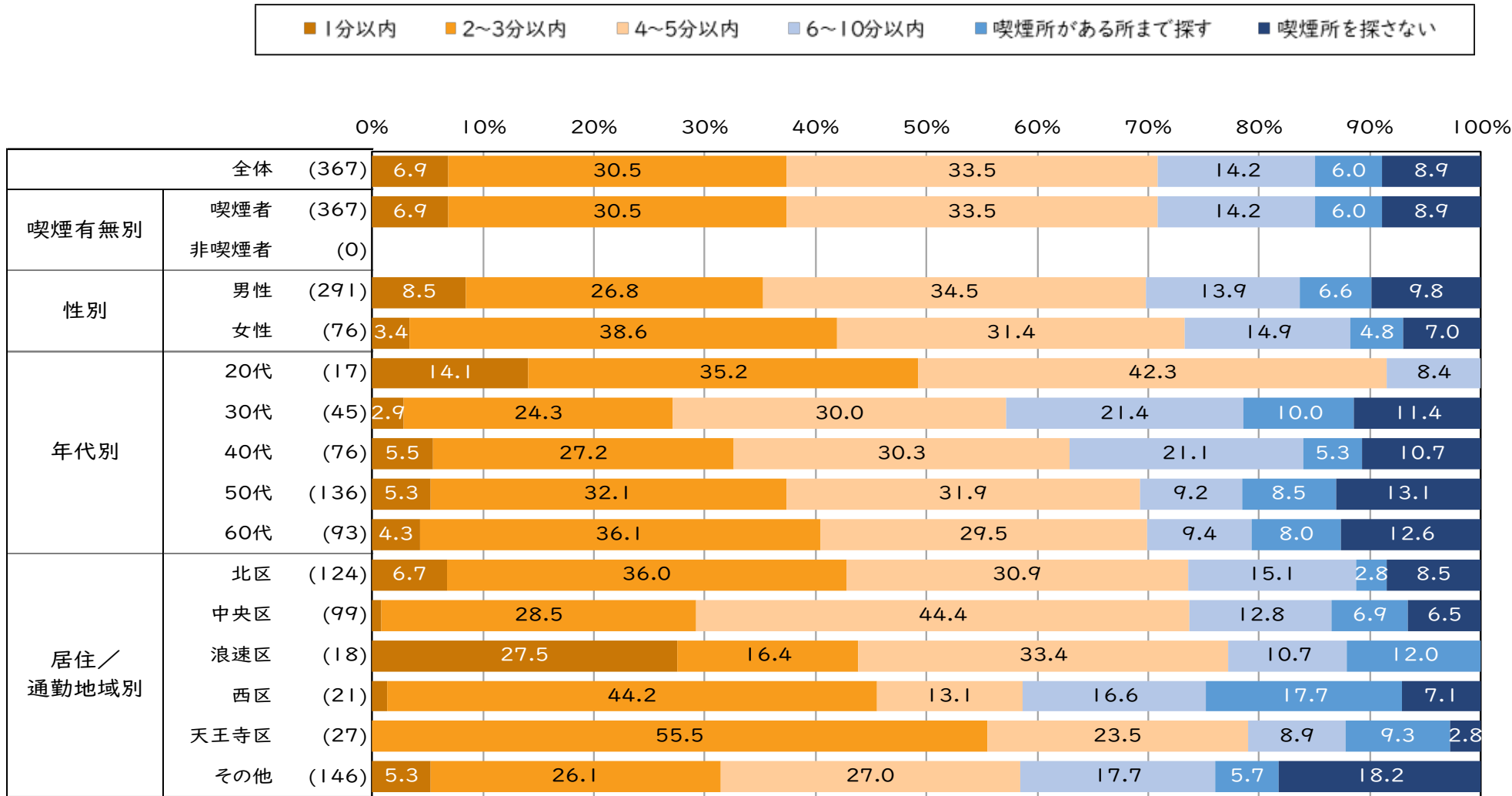
- 喫煙所が見つからない場合の対応として、最も高いのは「喫煙を我慢する」73.6%となっている。
- 一方で「路上での喫煙」「コインパーキングなどの私有地での喫煙」など、適切な喫煙場所が確保できないことによって、望ましくない行動に至るケースも一定数存在している。



		n	喫煙を我慢する	路上で喫煙する	喫煙可能な飲食店に入 って喫煙する	コインパーキングなど私 有地で喫煙する	遠くまで探しに行く	その他
喫煙有無別	全体	367	73.6	22.8	22.7	18.0	14.2	0.9
	喫煙者	367	73.6	22.8	22.7	18.0	14.2	0.9
	非喫煙者	0	-	-	-	-	-	-
性別	男性	291	67.3	27.0	19.4	15.6	12.1	1.3
	女性	76	87.3	13.7	30.0	23.4	18.8	-
年代別	20代	17	76.0	33.9	18.3	8.4	4.2	-
	30代	45	72.9	22.9	24.3	25.7	20.0	-
	40代	76	71.9	18.5	25.8	17.4	16.6	1.4
	50代	136	71.8	19.0	22.1	19.6	17.6	2.6
	60代	93	76.5	12.3	24.9	22.9	13.2	-
居住／ 通勤地域別	北区	124	73.8	19.6	17.1	16.8	8.0	0.4
	中央区	99	82.3	15.9	40.3	19.6	17.4	-
	浪速区	18	61.2	58.1	10.2	19.2	7.8	-
	西区	21	75.2	25.8	5.2	13.8	33.5	-
	天王寺区	27	79.2	4.8	20.6	25.0	25.0	-
	その他	146	65.1	18.3	18.2	22.0	15.3	3.3

Q7 外出先で近くに喫煙所がない場合、徒歩何分までなら喫煙所を利用したいと思いますか。(SA)

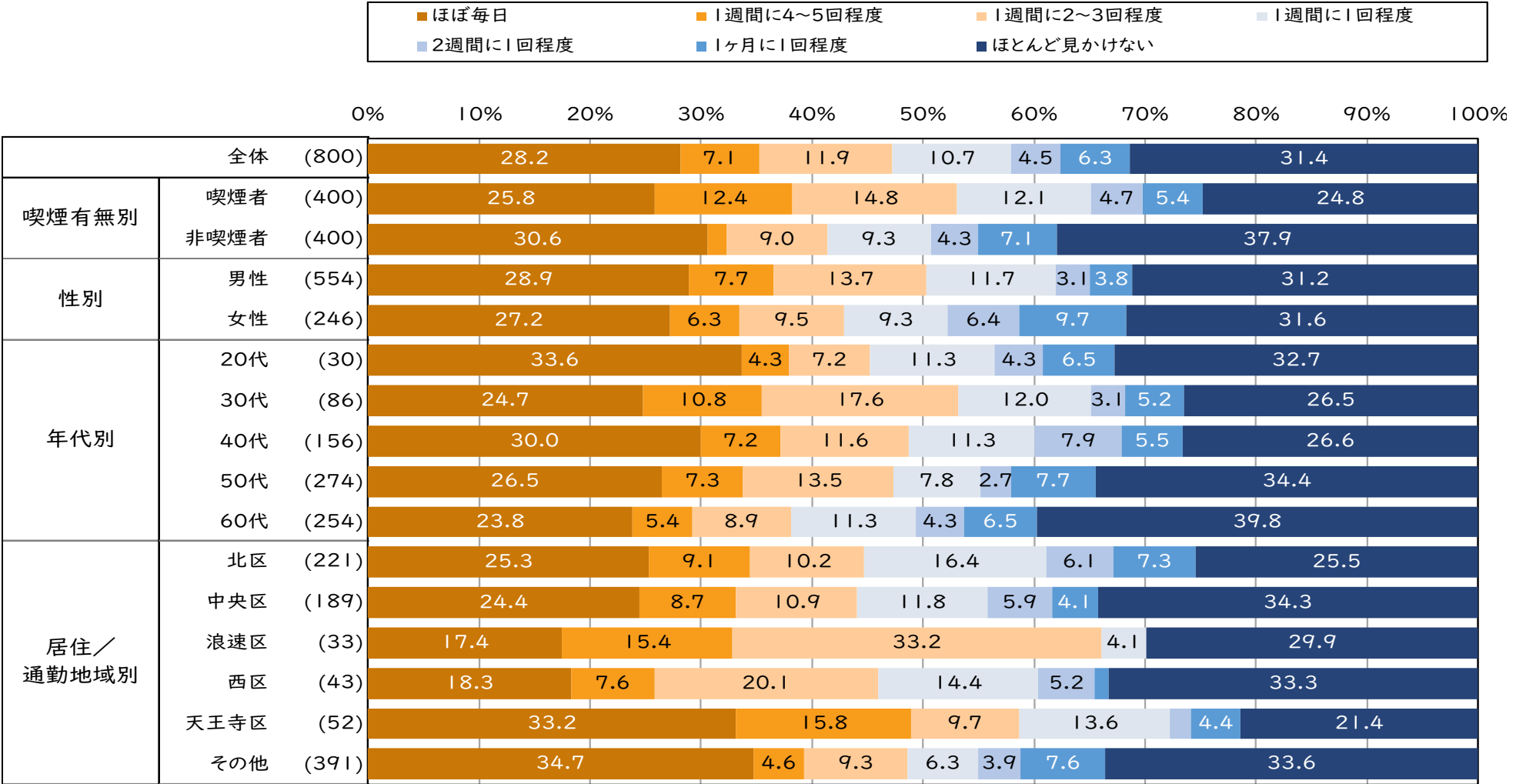
- 喫煙所を探す場合の徒歩時間としては、1分以内（6.9%）、2～3分以内（30.5%）、4～5分以内（33.5%）、10分以内（14.2%）と、多くの喫煙者が比較的短時間で喫煙所を見つけたいと考えていることが明らかとなった。
- 30代～60代までの年代別でみると、年代が上がるごとに、喫煙所までの徒歩時間は短くなる傾向が見られる。



2%未満の数値ラベルは非表示

Q8 大阪市内でタバコのポイ捨てを見かける頻度はどのくらいですか。(SA)

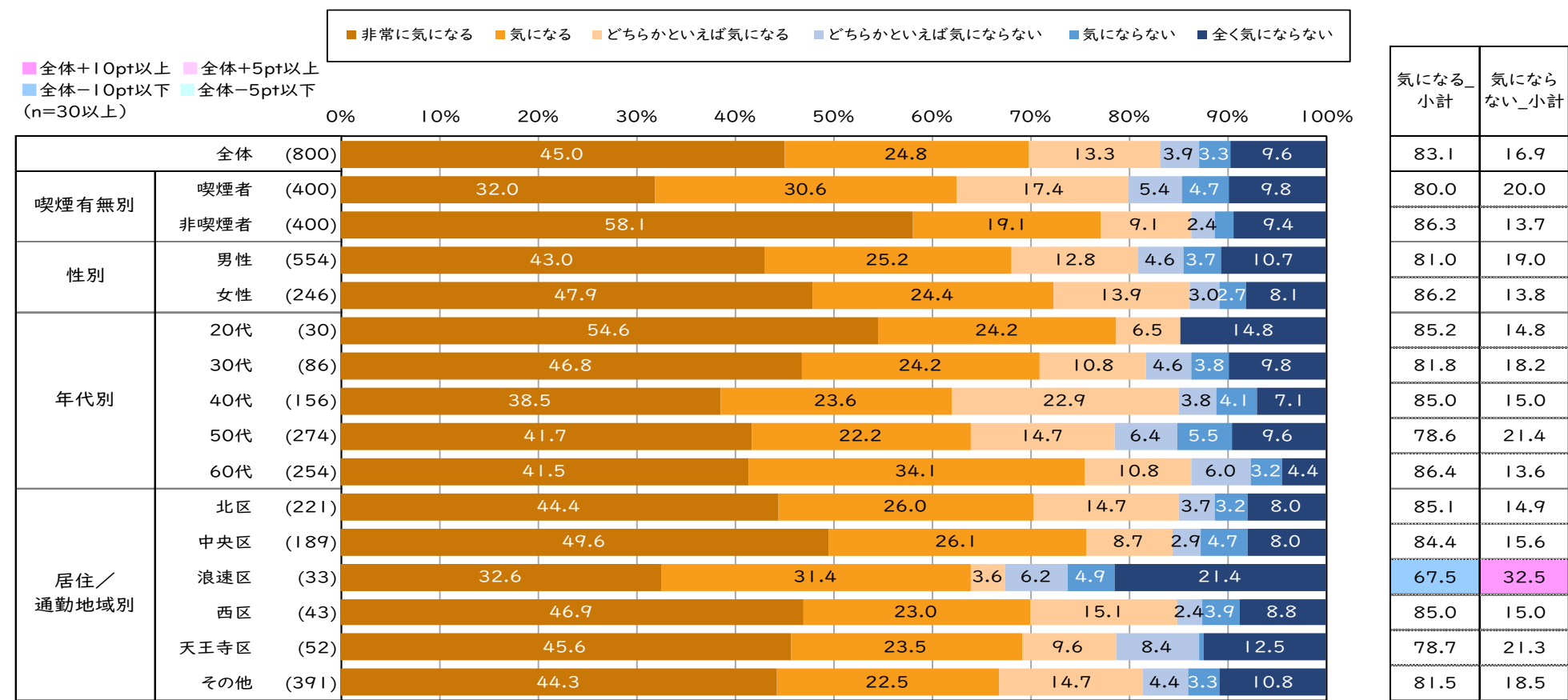
- ポイ捨てを見かける頻度は「ほぼ毎日」28.2%、「1週間に2〜3回程度」11.9%、「1週間に1回程度」10.7%の順で高くなっている。「ほとんど見かけない」は31.4%となっている。
- 居住／通勤地域別で週1回以上の割合でみると「天王寺区」の72.3%と高くなっている。次いで高くなっている地域が「浪速区」が70.1%。
- 中央区は55.8%と他の区と比べて週1回以上の割合は低い傾向が見られる。



2%未満の数値ラベルは非表示

Q9 路上喫煙について、どのように感じますか。(SA)

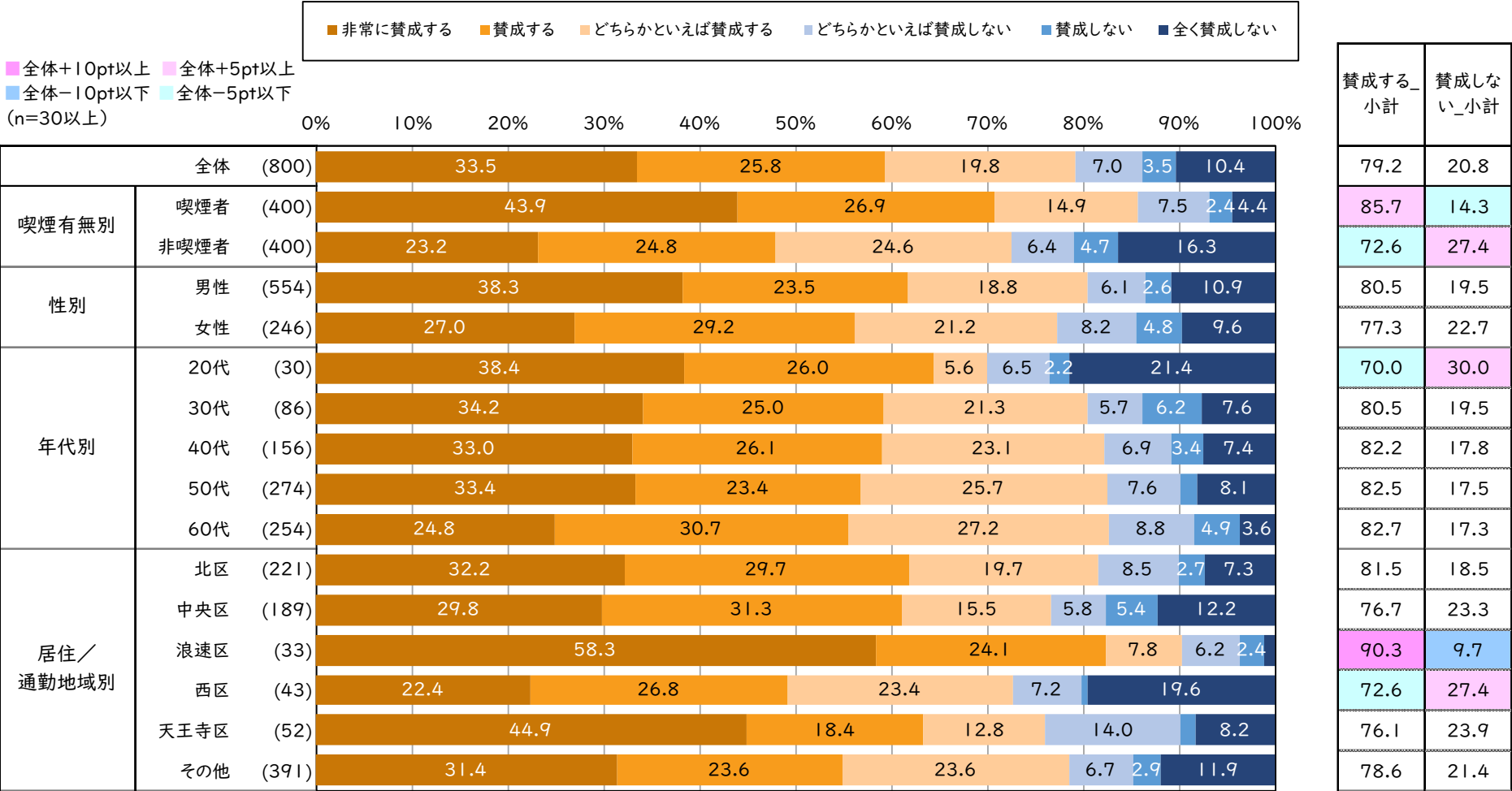
- 「路上喫煙が非常に気になる」と回答した割合は、喫煙者32.0%に対し非喫煙者は58.1%と26.1ポイントの差が見られるが、「路上喫煙が気になる」全体で見ると、喫煙者が80.0%、非喫煙者が86.3%と全体では6ポイントの差となっており、喫煙者・非喫煙者共に路上喫煙に対する課題感について大きな差は見られなかった。
- 浪速区は他の区と比べて「気にならない」方が多い傾向が見られる。



2%未満の数値ラベルは非表示

Q10 路上喫煙が減るのであれば、あなたは大阪市内の喫煙所の増設に賛成ですか。(SA)

- 喫煙所の増設については、全体の79.2%が賛成すると回答している。
- 喫煙有無別でみると喫煙者の方が賛成すると回答している方は多いものの、非喫煙者も7割強の方が賛成すると回答している。
- 居住／通勤地域別でみると「浪速区」が賛成90.3%と他の地域に比べて高い傾向が見られる。
- 一方で「西区」は賛成が72.6%と他の区に比べて低い傾向となっている。



2%未満の数値ラベルは非表示